

2026.3



あなたと輪を広げたい

なぎさ



にしくりん&
にしくも

編集：西区男女共同参画をすすめる会

発行：福岡市西区にぎわい交流推進会（〒819-8501 福岡市西区内浜1丁目4-1）



会長 進藤 伊都子

今回は皆様に各校区の活動の一部をご紹介できることを嬉しく思います。皆様の校区の男女共同参画部会がどんな活動をしているのか？他の校区はどんな活動をしているのか？を参考にさせていただければ幸いです。

また今年度は、奈良で日本女性会議が開催され、役員4名が参加してまいりました。開催中に我が国初の女性総理大臣が誕生というニュースを彼女の出身地で聞くことができ、今後の男女共同参画の活動にも力を得たような思いがしました。

今後も、地域のリーダーを「西区男女共同参画をすすめる会」から送り出せるように、研修等も工夫していきたいと思っております。

日本女性会議 2025

日本国はじまりの地から未来へ ～多様性を認め合う社会の実現を～

令和7年10月3日～5日に奈良県橿原市^{かしはら}で開催された日本女性会議に役員4名で参加しました。この橿原の地は日本の礎が築かれた場所であり、多くの女性たちが政治や文化の中心で活躍した歴史があります。私達はそれぞれの分科会に分かれ学びました。私は「今を生きるあなたに知ってほしい リプロダク



ティブ・ヘルス/ライツ」

を選択し女性のライフステージに応じた健康支援の取組や子どもを持つことに関する最先端医療、そして若い世代への啓発プロジェクトを知り、男女が互いの生物学的な特性を理解し尊重し合いそれぞれの特性をいかして行ける社会づくりについて学びました。

今回の学びを通して、ジェンダー平等の実現には、一人ひとりの意識と行動が大切だと改めて感じました。日本全国から参加した男女共同参画を目指す人達の中で、その一人であることができた事の感謝と、皆さんにも機会があればぜひ参加して欲しいと思っておりました。

(今宿校区 榎原 たつよ)

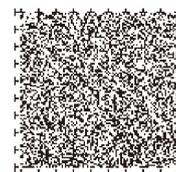
西区男女共同参画推進奨励賞受賞者紹介



地域で男女共同参画を実践・推進し、地域の男女共同参画社会の形成に貢献している個人や団体に対し、毎年、西区が表彰を行っています。今年度は3名の方が受賞されましたので紹介いたします。(敬称略)

■左写真：左から

内浜校区 西都校区 玄洋校区
三浦 加代子 進藤 伊都子 板屋 美幸



右のマークを専用のアプリで読み取ると文字が音声で流れます。➡

音声コードUni-Voice

西区長講演会

大園喜代香西区長より、平成元年に福岡市役所に入庁されてからの経験談など、普段はお聞きできないお話をいただきました。



参加者の声

- 男性中心社会が色濃く残る時代のなかで、辛い経験まで語っていただき、とても有難く拝聴しました。私の今後の活動にもとても役に立つ内容で、素晴らしい講演会でした。

ワールドカフェ

くつろいだ雰囲気の中で自由な対話を行うカフェ方式で、校区間情報交換を行いました。



参加者の声

- ワールドカフェは初めての参加でした。同じテーマについての意見交換の方法として、このような方法があることを知ることができました。
- 答えを出さなくていいという前置きがあったので、すごく話しやすかったです。
- 他の校区の取り組みを知り、課題を含めて理解することができました。

バス研修会

今回の研修先は、「JICA九州」と「いのちのたび博物館」でした。JICA九州では青年海外協力隊として実際にアフリカへ行かれた職員の方から直接お話を伺いました。組織での男女共同参画に沿った話を聞くことができ、特に、転勤時には配偶者の同行も可能になったこと、育児や介護に関わっている職員へのさ



まざまな制度が設けてあることなど、働きやすさの取り組みが広がっていることを学びました。また、実行委員として、下見の大切さを痛感しました。下見を行うことで、当日の研修がスムーズに進み、臨機応変に対応することができました。

参加者の声

- 活動自体にジェンダー平等を掲げており、管理職男女比、メンター制度など配慮が行き届いていました。
- 「信頼で世界をつなぐ」というビジョンを持つての活動は途上国技術向上や問題解決に役立つ活動だと改めて実感しました。
- 世界に目を向ける視点を大切にし、その思いが支援と平和へ繋がることを切に願います。

男女共同参画の視点で学ぶ地域防災研修

今回は那珂川市より「座・しゃくなげ」、那珂川市自主防災協議会会長の八代由美さん（防災士）を迎え、HUGゲームの内容を取り入れた寸劇と「命を守る防災～ジェンダー平等視点で考える～」と題した講演を聞き、地域防災の研修を実施しました。福岡市や西区の地形の特色を見ながら、日頃の準備と災害時の行動、性犯罪の加害者も被害者も出さないための性犯罪防止のポスターの掲示、トイレを「男」「女」「みんなのトイレ」と記載した工夫で設置すること、災害時に役立つグッズの数々の紹介等を学び、各委員が地域に持ち帰り、みんなで考える機会となりました。



参加者の声

- 「座・しゃくなげ」の寸劇は140回目ということで、実際の避難時に起こりそうなことが分かりやすく表現されていて良かったです。

編集後記

今年度はたくさんの校区の方に協力していただきました。この場を借りて感謝申し上げます。紙面の都合で今回紹介できなかった校区もさまざまな活動をされています。広報誌「なぎさ」を通して、男女共の活動をより身近に感じていただければ幸いです。

(下山門校区：なぎさ実行委員長 小島)

愛宕浜校区

以前本校区で実施した「男女共同参画落語会」の記事を博多区板付校区の男女共役員の方が目にされたことをきっかけに、板付校区と男女共同参画カルタを使った研修の視察および交流会を開催することになりました。このカルタは、アミカスのサポーターにより2018年に作られたものです。カルタ取りの後は各々が気になるカードや既に当たり前と思うものを選び、札の意味を知り、選んだ理由や自身の経験などを話し合い、大いに盛り上がりました。交流会では板付校区の悩み事などをお伺いし、それぞれの校区内での事情が異なることを学びました。これからも機会があれば他の校区との交流を実施していきたいと思えます。



内浜校区

「視察研修に行きました!!」

9月18日に福岡ヤクルト工場（筑紫野市）へ行き、男女共同参画推進会6名と環境委員会5名で視察。「安全・安心」な食品づくりを目指した品質と衛生管理を行う生産システムの物づくりの考え方の現場に目をみはりました。

会社の取り組みとして、一人暮らしの高齢者の安否確認や話し相手になるという「愛の訪問活動」を行っていること、健康な生活に貢献する企業ということを知りました。

さまざまなことを知ることができ、実施できて良かったです。



今宿校区

今宿校区男女共同参画部会コンサート

～みんなちがってみんないい♪音楽とともに～

11月15日（土）ボーカルユニットfoo（フー）さんをお迎えして、参加型コンサートを開催し、ギター演奏と歌とお話で楽しい一時を過ごしました。途中じゃんけん大会を行い、最後まで勝ち抜いた方へfooさんよりマラカスのプレゼント。みんなで「上を向いて歩こう」を合唱しマラカスの音がとても元気に鳴り響いていました。音楽を通して誰もが自分らしく輝ける社会について共有できた事を嬉しく思います。

また、校区文化祭では、参画ウィーク週間にみんなでチラシを作成して啓発活動を行い、この週間をきっかけに地域で男女共同参画推進の取り組みの輪を広げました。



北崎校区

バス研修会

北崎校区では11月21日にバス研修会を行いました。行き先は「キューピー鳥栖工場」と「中富記念くすり博物館」です。キューピー工場では素早く卵を割り、殻、卵白、黄身に分けてゆく機械を皆さん目を凝らして見学していました。又、試食会では野菜サラダに沢山ある種類のドレッシングを楽しみました。

くすり博物館では、薬の歴史や、新薬が出来るまでの長いプロセス、薬の分類など様々な視点から薬のことが学べました。



壱岐校区

毎年テーマを決めて活動してきましたが、今年度は委員が気になっているものに取り組みました。

○委員研修会(毎月定例会時)

「介護について」「夫婦別姓について」など

○講演会(4月、11月)

子どもたちの男女平等教育について校区の小・中学校の校長先生のお話を拝聴しました。

○壱岐いき音頭伝承活動

校区のお祭り、町内・自治会のお祭り、老人ホーム夏祭りに参加しています。

○バス研修(1月)

福岡駐屯地を見学し、女性自衛隊員のお話をお聴きました。



玄洋校区

『やってもやっても終わらない名もなき家事に名前をつけたらその多さに驚いた。』(梅田悟司著)が役員会で話題となったことをきっかけに、令和2年度より「名もなき家事」をテーマとした取り組みを行っています。家事を細分化(例:炊事→献立作成、買い物、野菜を洗う)し、約200項目を洗い出して可視化しました。令和4・5年度の校区文化祭では家事分担に関するアンケートを実施し、世代による違いがわかりました。さらに令和6年度には、これまでの活動から男女共同参画をテーマとした標語を作成し、令和7年度の文化祭で人気投票を行いました。家事を見つめ直すことは、夫婦や家族の関係を考えるよいきっかけになるのではないのでしょうか。



西都校区

月1回の定例会に加え、今年度は文化祭での展示や講演会でアン・クレーシーニさんをお招きしたり、お父さん達が交流しながらロールケーキ作りに挑戦したり、新企画「ワインを飲みながら男女共同参画について語ろう会」など様々な企画を通じて「男女共同参画ってなんだろう?」と考えるきっかけを提供してきました。



これからも、地域の方々に活動を知っていただき、



関心の輪を広げることが目標に、また「楽しく活動すること」を一番に、皆で考えながら、活動を続けていきます。

周船寺校区

今年度は、西区男女共同参画をすすめる会の事業を取り入れて実施しました。“連携力と防災力向上! 炊き出し訓練”として、防災推進委員会、青少年育成連合会との三団体合同で行いました。また、「アンちゃんと考える多様性」、恒例の「ひまわりコンサート」を行いました。いずれも大好評でした。

これまで役員だけで企画・運営をしていましたが、今年は他校区を参考にして、部会制へ変更したことで、初めは大変なこともありましたが、委員全体を巻き込んだの活動となり良かったと感じています。

校区では自治会長、公民館長が委員になっているため連携しながら進めることができている。男性ならではの意見など聞けて、とても参考になります。

